

林 務 課

I 施策体系

- 森林・林業・林産業施策の転換期を迎えていることを念頭に、3つの政策の柱に沿って、現場視点、市町村や事業体等との連携、多様な情報の適切な発信を意識し、地域の課題を的確に把握しつつ重点的に推進する施策等を明確にして取り組む。

	政策の柱	大項目	事業名	
総合5か年計画	1 持続可能で安定した暮らしを守る	地球環境を保全する	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス循環利用普及促進事業 □ 林地残材有効活用推進支援事業 ● あたりまえに木のある暮らし推進事業 信州の森林づくり事業（公共・県単） ● ・人工造林・初期保育の高上げ ● ・防災・減災のための里山整備 新 ● ・再造林省力化モデル推進事業 野生鳥獣総合管理対策事業 新 ● ・再造林推進シカ捕獲サポート事業 ICTを活用した獣害対策事業 ・広域捕獲活動支援事業 ・シカによる森林被害緊急対策事業 ・奥地等シカ捕獲推進事業 ● 地球温暖化防止吸収源対策推進事業 拡 □ 森林経営管理体制支援事業 	
		災害に強い県づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 治山事業（公共・県単・直轄） 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕 ● ・防災・減災のための里山整備〔再掲〕 ● 市町村森林整備支援事業 林業公社事業費 松林健全化推進事業 	
	2 創造的で強靱な産業の発展を支援する	産業の生産性と県民所得の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 林道事業（公共・県単） 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕 ● ・人工造林・初期保育の高上げ〔再掲〕 新 ● ・再造林省力化モデル推進事業〔再掲〕 野生鳥獣総合管理対策事業〔再掲〕 新 ● ・再造林推進シカ捕獲サポート事業〔再掲〕 高性能林業機械導入推進事業 林業総合センター試験研究普及費 木材産業循環成長対策事業 林業用優良苗木生産指導事業 □ ・エリートツリー等種子安定供給事業 林業労働力対策事業 ・森林整備担い手育成確保総合対策事業 拡 □ ・信州の森林で働く人材確保推進事業 拡 □ ・林業労働力緊急確保対策事業 □ ・林業労働力活用促進対策事業 拡 ● 多様な林業の担い手確保育成事業 □ 林業大学校運営費 拡 林業就労条件整備促進事業 拡 □ 林業労働災害防止対策事業 □ 持続的な林業経営の確立支援事業 新 □ 木曾谷・伊那谷フォレストバレー形成事業 	
			人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ● あたりまえに木のある暮らし推進事業〔再掲〕 木質バイオマス循環利用普及促進事業〔再掲〕 □ ウッドチェンジ普及促進支援事業 拡 □ ウッドもっとなぐ事業 新 上伊那地域材活用促進事業〔県民参加型〕
			地域に根差した産業を活性化させる	<ul style="list-style-type: none"> 林業労働力対策事業〔再掲〕 拡 □ ・信州の森林で働く人材確保推進事業〔再掲〕 拡 □ 林業労働災害防止対策事業〔再掲〕 新 □ 木曾谷・伊那谷フォレストバレー形成事業〔再掲〕 新 ・木曾地域材製品・DIYキット開発事業〔県民参加型〕
			住む人も訪れる人も快適な空間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 拡 ● 森林サービス産業総合対策事業 ● 開かれた里山の整備事業 ● 開かれた里山の整備・利用推進事業 戸隠森林植物園・森林学習館管理費 県民の森管理事業 ICTを活用した獣害対策事業〔再掲〕 □ スマート林業構築普及事業 □ 森林路網DX推進事業 □ 森林情報基盤整備事業
	4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	働き方改革を推進し、就労支援を強化する	拡 ● 多様な林業の担い手確保育成事業〔再掲〕	
	5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる	高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する	□ 林業大学校運営費〔再掲〕	

新：新規事業 拡：拡充事業 ●：長野県森林づくり県民税活用事業（一部活用含む） □：森林環境と税活用事業（一部活用含む）

II 地域の森林・林業の状況及び事業の概要

1 持続可能で安定した暮らしを守る森林づくり

(1) 森林の状況及び適切な森林の管理

ア 森林の状況

- 管内の森林面積は 100,926ha で県全体の 9.6% を占め、森林率(管内面積に占める森林面積)は 65% で、県全体の 78% より低くなっている。また、民有林の占める割合は 81% で県全体の 65% を上回っている。
- 民有林の人工林のうち、森林整備が必要な 3～12 齢級(11～60 年生)の森林面積は 15,420ha で人工林全体の 41% を占めている。
- 民有林の人工林のうち、主伐期を迎えている 13 齢級(61 年生)以上の森林面積は 21,685ha で人工林全体の 58% を占め、さらにスギが 7,793ha で 46% を占めている。

【市町村別森林面積】

(単位：ha、%)

区分 市町村	森林面積	森林率	国有林 面積	内 訳					
				民 有 林					
				計	人工林	人工林	天然林	その他	
長野市	52,494	62.9	11,042	41,452	18,411	44.4	21,629	1,412	
須坂市	10,196	68.1	1,848	8,347	4,629	55.5	3,262	456	
千曲市	6,906	57.6	0	6,906	3,571	51.7	3,177	158	
坂城町	3,602	67.1	0	3,602	1,539	42.7	1,988	75	
小布施町	254	13.3	0	254	59	23.2	174	21	
高山村	8,378	85.0	830	7,548	3,381	44.8	3,538	629	
信濃町	10,825	72.5	5,557	5,269	2,360	44.8	2,823	86	
飯綱町	3,972	53.0	366	3,606	1,696	47.0	1,884	26	
小川村	4,299	74.0	84	4,215	1,504	35.7	2,625	86	
管内計(A)	100,926	64.8	19,727	81,199	37,150	45.8	41,100	2,949	
構成比	100.0		19.5	80.5	36.8		40.7	2.9	
長野県	県合計(B)	1,056,151	78.0	368,283	687,867	334,871	48.7	333,362	19,634
	構成比	100.0		34.9	65.1	31.7		31.6	1.8
県に占める割合(A/B)		9.6		5.4	11.8	11.1		12.3	15.0

出典：長野県民有林の現況（令和5年9月）

【管内齢級別面積】

(単位：ha)

齢 級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13～	計
人工林	20	25	13	44	141	238	432	916	1,765	2,336	3,413	6,116	21,685	37,150
(割合)	1%		41%										58%	100%
スギ	5	1	4	9	23	112	311	744	1,350	1,526	2,139	2,667	7,793	16,688
(割合)	0%		54%										46%	100%

出典：長野県民有林の現況（令和5年9月）

イ 適切な森林の管理

- 国の事業を活用し、森林組合等が実施する間伐等の森林整備を支援した。
- 主伐後の再生林を計画的に進めており、令和5年度実績は 24.3ha となった。
- 効率的な森林の施業及び適切な森林の保護を目的とした森林経営計画の認定状況は令和4年度末で 10,133ha で民有林のカバー率は 12.5% となっている。

【信州の森林づくり事業】

(単位：千円)

区 分	事業種類	令和4年度実績		令和5年度実績		前年度比	
		事業量	補助金額	事業量	補助金額		
森林環境保全直接支援事業	間伐、保育間伐	185.9ha	72,342	134.7 ha	56,035	77.5%	
	更新伐	6.2ha	7,024	24.1 ha	10,800	153.8%	
	地拵え	7.4 ha	2,367	17.0 ha	4,365	184.4%	
	植栽	4.5 ha	2,947	20.4 ha	21,118	716.6%	
	下刈り等	29.6 ha	4,650	35.4 ha	6,695	144.0%	
	森林作業道	15,718m	21,994	12,694m	22,322	101.0%	
	小 計	233.6ha 15,718m	111,324	231.6 ha 12,694m	121,334	109.0%	
みんなで支える里山整備事業	防災・減災のための森林整備	保育間伐	43.7 ha	10,520	16.7 ha	5,131	48.8%
		地拵え	0.3 ha	266	—	—	0.0%
	開かれた里山の整備事業	植栽	0.3 ha	149	—	—	0.0%
		下刈り等	19.4 ha	4,230	1.7 ha	378	8.9%
		小 計	63.8 ha	15,166	18.4 ha	5,509	36.3%
計		297.5 ha 15,718m	126,490	250.0 ha 12,694m	126,843	100.3%	

出典：長野県長野地域振興局調べ

注1 「開かれた里山の整備事業」の令和4年度実績は、「県民協働による里山整備」の実績を記載

2 事業種ごとに千円未満を四捨五入したため各事業種の合計と計は一致しない

【管内民有林における主伐・再造林の推移】

(単位：ha)

区 分	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
主 伐	81	65	65	76	73	49	—	—	—	—	—
再造林	目標						18.8	23.1	27.4	31.7	36.0
	実績	3	2	3	7	14.5	6.3	24.3	—	—	—
天然更新	64	58	58	65	60	33	—	—	—	—	—

出典：長野県長野地域振興局調べ

【森林経営計画認定状況】

(単位：ha)

区 分	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
認 定 面 積	1,445	626	2,845	2,087	2,012	2,157	1,032
年度末有効面積	13,259	13,885	11,376	9,817	9,015	9,727	10,133
民有林カバー率	16.3%	17.1%	14.0%	12.1%	11.1%	11.9%	12.5%

注1 「認定面積」は年度中に認定された面積、「当該年度有効面積」は年度末時点の認定有効面積

2 県知事認定の計画(県営林、林業公社等)は含まない。

(2) 山地災害対策

ア 山地災害危険地区の設定状況

- 管内で山腹崩壊等の危険地区が1,308箇所設定されており、県全体の18%を占め、うち地すべり危険地区は184箇所県全体の48%を占めている。
- 近年、局所的な豪雨等による山腹崩壊等が分散的・多発化しており、これまで以上に中山間地域の集落単位での防災意識の高揚が必要となっている。

【民有林における山地災害危険地区の設定状況(R6.1.1時点)】

(単位：箇所)

区 分	長野市	千曲市	須坂市	坂城町	小布施町	高山村	信濃町	飯綱町	小川村	小 計	県全計
山腹崩壊	251	68	78	28	5	44	4	6	40	524	3,276
崩壊土砂流出	399	53	22	20		20	4	14	68	600	3,653
地すべり	154	3				6	1	3	17	184	386
計	804	124	100	48	5	70	9	23	125	1,308	7,315

出典：長野県林務部調べ(令和6年1月現在)

イ 事業の実施状況

- 被害状況の調査をもとに、市町村や地域の要望を踏まえ、国の補助制度を活用した山地治山総合対策や県単治山事業等を計画的に実施している。

【山地災害対策関連事業の実績及び計画】

(単位：千円)

予算区分	区 分		令和5年度 (実績)		令和6年度 (計画)		前年 対比 (B/A)
			箇所 数	事業費 (A)	箇所 数	事業費 (B)	
補助	山地治山総合対策	復旧治山	6	320,743	7	397,100	124%
		緊急総合治山	1	50,006	2	82,000	164%
		緊急総合地すべり防止	1	36,927	1	19,840	54%
		緊急予防治山	1	30,008			0%
		地すべり防止			1	30,000	皆増
		保安林整備			2	5,700	皆増
	水源地域等保安林整備	奥地保安林保全緊急対策	1	24,206			0%
交付金	治山事業	予防治山	1	15,400	4	119,420	775%
小 計			11	477,290	17	654,160	137%
災害	災害関連緊急治山		3	139,005	1	23,059	17%
	林地荒廃防止施設等災害復旧		1	40,788			0%
小 計			4	179,793	1	23,059	13%
公 共 計			15	657,083	18	677,219	103%
県単治山事業			27	169,222	12	51,413	30%
合 計			42	826,305	30	728,632	88%

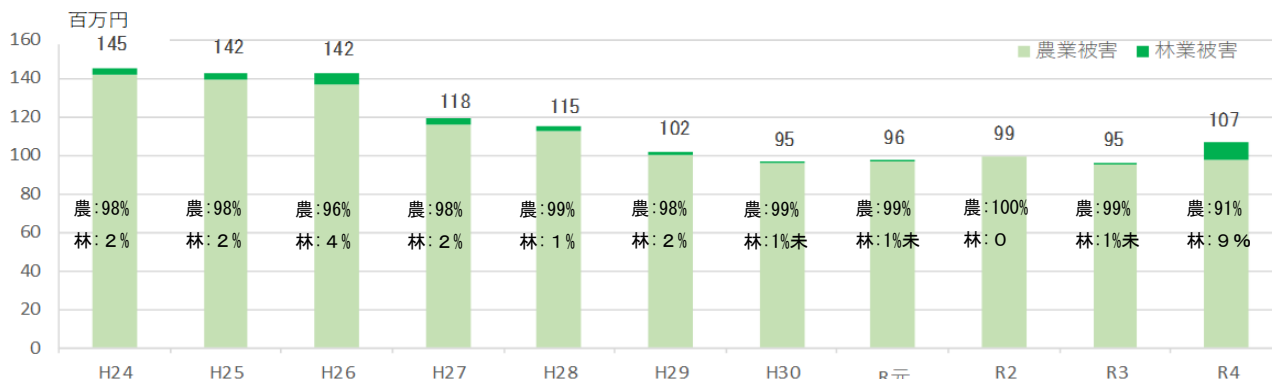
出典：長野県林務部調べ（令和6年4月現在）

(3) 野生鳥獣被害対策

ア 野生鳥獣被害の状況

- 農林業被害は1億7百万円で平成24年度の1億4千5百万円と比べ、73%と減少傾向にあるものの、ニホンジカやイノシシの被害区域はこれまで被害のなかった地域に拡大している。
- 農業被害のうち果樹被害が深刻な課題であり、これまでカラス等の鳥類やイノシシ、ハクビシンによる獣類の被害が多くみられたが、令和5年はツキノワグマによる農業被害が多発した。

【野生鳥獣被害額の推移】



出典：長野県林務部「野生鳥獣による林業被害調査」及び農政部「野生鳥獣による農作物の被害状況調査」

イ 被害対策の実施状況

- 市町村の要望に基づき、捕獲対策・担い手対策・侵入防止柵・緩衝帯整備を組み合わせ実施している。
- ニホンジカの捕獲数が伸びており、捕獲範囲も被害に連動して拡大している。

【補助事業の実績と計画】

(単位：千円)

区 分	令和5年度実績			令和6年度計画			前年度比 (補助)	
	市町村数	事業費	補助金額	市町村数	事業費	補助金額		
野生鳥獣総合管理対策事業	・大型獣緊急捕獲・放獣	8	1,614	791	9	-	2,338	296
	・捕獲用檻・わな購入	3	1,512	729	2	-	323	44
	・個体数調整	5	3,693	578	8	-	774	134
	・新規銃猟者確保支援				2	-	125	皆増
	・鳥獣被害対策実施隊員支援	6	982	471	6	-	1,234	262
	・集落等捕獲隊活動支援	1	274	137	1	-	200	146
	・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援	9	46,963	22,286	9	-	24,557	110
	・総合支援	1	5,891	5,210	1	3,789	3,000	58
計	9	60,929	30,202	9	-	32,551	108	

出典：長野県長野地域振興局調べ

【主要な野生鳥獣の捕獲数の推移】

(単位：頭、羽)

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
ツキノワグマ	26	138	27	43	44	44	69	82	59	50	82
イノシシ	1,571	1,574	1,233	1,544	1,776	1,684	2,258	1,090	968	1,204	1,563
ニホンジカ	822	1,081	983	1,116	1,283	1,370	1,731	2,237	2,512	2,438	2,517
ハクビシン	385	424	388	429	466	460	573	614	485	512	438
カラス	1,302	1,283	1,097	1,142	988	297	1,506	782	610	942	401

出典：長野県林務部「鳥獣関係統計報告（環境省）」（許可捕獲、狩猟）

(4) 松くい虫被害対策

ア 被害状況

- 平成年代初期に爆発的に増加し、その後の被害対策の実施により、近年の被害量は6～7千m³で推移している。

【松くい虫被害量の推移】

(単位：m³、%)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
長野地域	7,480	6,825	6,725	5,613	7,462	7,925	7,946	6,390	7,003	7,921
長野県	75,911	77,008	73,085	74,049	71,996	70,440	64,022	51,443	53,949	55,280
割合	9.8	8.8	9.2	7.5	10.3	11.2	12.4	12.4	12.9	14.3

出典：長野県林務部「林業統計書」、「松くい虫被害木調査報告書」

イ 被害対策の状況

- 市町村が行う被害木の除去や空中薬剤散布等の取組を支援している。

【松くい虫防除対策事業の実績と計画】

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度実績		令和6年度計画		前年比 (B/A)	
	事業量	事業費(A)	事業量	事業費(B)		
松林健全化 推進事業	特別防除(空中薬剤散布)	25.00ha	1,282	25.00ha	1,282	100.0%
	地上薬剤散布	12.35ha	1,672	12.35ha	1,673	100.0%
	無人ヘリコプター散布	4.50ha	510	4.50ha	510	100.0%
	薬剤防除安全確認調査	32検体	1,182	32検体	1,182	100.0%
	伐倒駆除	1,273㎡	36,124	635㎡	20,246	53.7%
	小 計		40,770		24,893	58.8%
保全松林緊急 保護整備事業	衛生伐(伐倒くん蒸)	1,664㎡	53,746	2,163㎡	89,136	165.8%
	小 計		53,746		89,136	165.8%
市町村森林整備 支援事業(森林税)	枯損木利活用	76㎡	2,512	120㎡	8,256	328.6%
	森林外被害木処理	18㎡	781	15㎡	884	116.4%
	小 計		3,293		9,140	279.4%
計		97,809		123,169	123.9%	

出典：長野県長野地域振興局調べ

2 創造的で強靱な産業の発展を支援する森林づくり

(1) 林業・木材産業等の状況

- 林業従事者数の推移をみると、令和4年には173人で対前年比113%と増加したが、過去5年で98%と微減している。
- 高性能林業機械の導入状況は、管内の林業事業体に令和5年度には3台配備された。
- 路網整備の状況は、令和5年度に19箇所で開催等に取り組み、着実に延伸している。
- 適正な主伐の実施に向け、長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく災害リスクの低減や伐採届等の手続き等を確実に履行させるため、事業体に対する的確な指導を行うとともに、苗木の安定確保に取り組むことが重要である。
- 森林所有者が自ら管理できない森林に関して、森林経営管理制度を適用させていくためには、市町村が担う森林所有者の意向把握への支援も課題である。

【長野管内の林業事業体・林業従事者数の推移】

区 分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
事業体数	21	18	19	19	16	17	15	14	14	17
従事者数(人)	293	288	194	192	177	163	158	148	152	173

出典：長野県林務部「林業事業体等の調査(R5調査)」

【高性能林業機械の導入実績】

(単位：千円)

区 分	事業主体	令和4年度実績		令和5年度実績		前年度比 (%)
		事業内容	補助金額	事業内容	補助金額	
高性能 林業機械 導入推進 事業	長野森林組合	ウインチ付き グラップル 1台	5,826	フォワーダ 1台	7,185	123.3
	北信木材生産セ ンター協同組合	グラップル付き トラック 1台	5,338	ウインチ付き グラップル 1台	6,088	254.2
					フォワーダ ^{※1} 1台	
計		2台	11,164	3台	20,756	185.9

出典：長野県林務部調べ

注) ※1は令和4年度の繰越。

【林道事業の実績及び計画】

(単位：千円)

事業区分	事業名	路線名	令和5年度実績		令和6年度計画	
			延長	事業費	延長	事業費
県営	開設事業	信濃町 古海(支)線	320	20,240	740	27,610
	小 計		320	20,240	740	27,610
補助	開設事業	長野市 すずり石線	265	10,340	—	—
	改良事業	長野市 大川線	200	48,037	186	44,550
		千曲市 芝平樽滝線	—	—	36	28,600
	点検診断	長野市 大川線	1箇所(45)	1,914	1箇所(230)	5,060
		長野市 釜岩線	1箇所(82)	1,925	—	—
	保全整備	須坂市 米子不動線	1箇所(13)	5,302	—	—
		千曲市 不動滝線	1箇所(37)	32,819	—	—
	PCB	須坂市 米子不動線	—	—	1箇所(13)	14,300
小 計		465	100,337	222	92,510	
災害	林道施設災害復旧事業	長野市 (2路線3箇所)	46	15,466	—	—
		小川村 (3路線10箇所)	345	118,327	24	12,485
	小 計		391	133,793	24	12,485
合 計			1,176	254,370	986	132,605

出典：長野県林務部調べ

- 注1 事業費は、前年度からの繰越額及び年度内支払額としている。
 注2 令和6年度計画額は令和6年度実施予定事業費と令和5年度から繰越事業費としている。
 注3 災害の事業費は補助対象額とする。
 注4 PCB…林道橋梁におけるPCB(ポリ塩化ビフェニル)濃度分析

【森林作業道(森林整備に伴うもの)の開設実績及び計画】

(単位：路線、千円)

事業名	令和5年度実績			令和6年度計画		
	路線数	延長	事業費	路線数	延長	事業費
信州の森林づくり事業	15	12,694	22,322	20	18,863	28,305
自 力			調査中			調査中
計	15	12,694	22,322	20	18,863	28,305

出典：長野県林務部調べ

(2)木材産業の状況

- 木材価格の推移をみると、スギの中丸太(径24~28cm)は令和6年3月時点で14,500円/㎡で令和元年の年平均11,700円/㎡から1.2倍となっている。
- 長野県が独自に行っている素材生産量の調査によると、長野管内では令和4年で6.1万㎡で、平成24年(10年前)の6.9万㎡から0.9倍と微減している。
- 長野管内でも合板需要に的確に対応しつつ、スギ大径材の建築用材利用をはじめ、土木用材や木質バイオマス利用まで幅広い需要開拓が必要であるとともに、地域の林業・林産業の関係者が連携し、木材需要の的確な把握と素材の安定供給との需給調整を行っていく体制づくりが必要である。

【木材価格の推移】

(単位：円/㎡)

区 分	H17	22	27	R元	2	3	4	5	R6.3月
スギ	14,300	11,500	9,800	11,700	10,400	14,000	16,000	14,400	14,500
ヒノキ	25,500	21,100	15,300	14,800	13,400	22,000	23,000	17,500	19,400
アカマツ	10,400	7,800	9,200	8,800	8,800	11,300	14,500	13,400	13,000
カラマツ	13,400	12,700	12,800	14,900	14,300	17,000	21,800	20,300	21,000

出典：長野県林務部「長野県の木材価格」から抜粋

【長野管内の素材生産量の推移】

(単位：m³)

区分	H24	29	30	R元	2	3	4	R4/H24	R4/H29
国有林	20,418	27,942	31,089	32,738	20,022	28,109	25,775	131.1%	92.2%
民有林	48,955	49,027	54,772	50,214	46,873	37,543	35,113	71.7%	71.6%
計	69,373	76,969	85,861	82,952	66,895	65,652	60,888	87.8%	79.1%

出典：長野県木材統計（1月～12月）

【木材生産額】

種別	区分	生産量		生産額（推計）	
			前年比（%）	（千円）	前年比（%）
木材	一般用材等	60,888 m ³	92.7	974,208	105.6
	しいたけ原木	7.0千本	77.8	1,961	83.1
	計	—	—	—	—

出典：長野県木材統計（1月～12月）をもとに推計

(3) 特用林産物

- なめこが全体の約9割を占め、きのこは総じて前年比で伸びている。

【特用林産物の生産動向】

(単位：t、千円、%)

種別	区分	生産量		生産額（推計）	
			前年比		前年比
特 用 林 産 物	生しいたけ	18.5	113.5	20,860	175.1
	なめこ	1,529.9	105.1	623,123	104.6
	まつたけ	0.2	100.0	662	100.0
	木炭	456.4	98.2	20,215	94.5
	山菜	8.7	106.1	5,124	86.0
	その他	—	—	28,470	101.6
	計	—	—	698,454	105.4

出典：長野県林務部「R3 特用林産物生産統計調査(R3年1月～12月)」

3 快適でゆとりのある社会生活を創造する森林づくり

(1) 森林づくり県民税等を活用した施策の取組状況

- 県民等が里山の森林に親しむことができるよう、開かれた里山整備事業により地域住民等による里山整備や利活用活動を支援した。
- ライフライン沿線等の支障木伐採や観光地の景観整備、野生鳥獣被害対策のための緩衝帯整備等の市町村からの要望の高い取組をメニュー化して支援した。

【開かれた里山等関係事業】

(単位：千円)

区分		令和4年度実績		令和5年度実績	
		箇所数	補助金額	箇所数	補助金額
里山整備利用地域活動推進事業	開かれた里山	—	—	1地区	503
	一般	5地区	3,480	5地区	2,680
里山資源利活用推進事業	開かれた里山	—	—	—	—
	一般	2地区	1,252	2地区	514
計		6地区	4,732	6地区	3,697

出典：長野県長野地域振興局調べ

【里山整備利用地域の認定状況】

(単位: ha)

認定年度	市町村	地域名	中心となる集落名	面積	活動主体の名称
H30	須坂市	離山	豊丘	3	離山を守る会
	長野市	七二会	坪根(滝谷)	108	NPO 法人信州フォレストワーク
	須坂市	臥竜公園	小山、南原、北原	16	臥竜公園里山整備利用推進協議会
	須坂市	塩野	塩野	63	塩野地区利用推進協議会
	長野市	浅川	台ヶ窪	112	あさかわの里山と森を守る会
	坂城町	上平	上平	446	上平森林協働整備協議会
	長野市	戸隠豊岡	豊岡	58	戸隠森林整備クラブ
R元	信濃町	柏原上ノ原	上ノ原	21	日中友好の森林づくり推進協議会
	長野市	七二会2	論地	5	七二会里山整備利用推進協議会
	信濃町	富が原	富が原	172	富が原里山整備利用推進協議会
R2	坂城町	中之条	中之条	371	中之条区里山整備協議会
	須坂市	井上	井上	15	井上城址さくらの会
R3	千曲市	小坂山	桑原小坂、稻荷山元町	37	千曲市川西地区振興連絡協議会里山整備部会
R4	長野市	信州新町信級	信級	824	信級きぼうの森
	千曲市	一重山	屋代	13	一重山みらい会議
R5	長野市	七二会3	平出	190	七二会森林クラブ
	千曲市	猿ヶ馬場峠	八幡(中原区)	99	八幡地区里山整備委員会

出典: 長野県長野地域振興局調べ

【市町村森林整備支援事業一覧】

(単位: 千円)

区分	事業の種類	R5実績			R6計画		
		面積等	事業費	補助金	面積等	事業費	補助金
長野市	観光地等の景観整備	157本	3,267	2,940	1.9ha	4,189	3,770
	緩衝帯の整備	3.01ha	4,318	3,870	3.4ha	4,100	3,690
	小計		7,585	6,810		8,289	7,460
須坂市	緩衝帯の整備				3.0ha	3,000	2,700
	森林外被害木処理	13㎡	517	250	5㎡	400	200
	小計		517	250		3,400	2,900
千曲市	観光地等の景観整備				0.4ha	1,939	1,744
坂城町	枯損木利活用	76㎡	2,512	2,260	80㎡	2,500	2,250
高山村	森林外被害木処理	5㎡	242	121	10㎡	484	242
信濃町	枯損木利活用				20㎡	1,300	1,170
飯綱町	ライフライン等の保全対策	32本	1,014	911	46本	1,840	1,656
	観光地等の景観整備	1.16ha	2,440	2,196			
	緩衝帯の整備	0.78ha	950	855			
	枯損木利活用				20㎡	4,456	4,010
	小計		4,404	3,962		6,296	5,666
小川村	ライフライン等の保全対策	18本	1,533	1,378	35本	1,400	1,260
計			16,793	14,781		25,608	22,692

出典: 長野県長野地域振興局調べ

(2) 森林の多面的利用の取組状況

- 県民に対する森林・林業に関する知識・技術の普及や森林レクリエーションを体験する場として戸隠森林植物園と森林学習館の管理を行っている。
- 健康や教育、観光等の他分野で森林空間を活用する取組として、信濃町が取り組む修景伐採や歩道等の整備等を支援した。
- 学校等を活用した森林環境教育を行う学校や団体に対し、森林整備や森林環境教育に必要な資機材の導入等を支援した。

【戸隠森林植物園・森林学習館の利用実績】

(単位：人)

区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
森林植物園	141,597	132,213	109,459	30,790	43,715	87,990	110,087
森林学習館	17,612	14,583	14,259	6,590	7,150	9,500	8,565

出典：長野県長野地域振興局調べ

【森林サービス産業活動支援事業】

(単位：千円)

区分		R4実績	R5実績	前年度比
森林セラピー基地等 施設整備支援事業	市町村数	1	1	100.0%
	補助金額	689	2,842	412.4%

出典：長野県長野地域振興局調べ

【学びと育ちの森づくり推進事業】

(単位：千円)

区分		R4実績	R5実績	前年度比
森林環境教育フィールド の整備（県立学校以外）	対象件数	3	4	133.3%
	補助金額	288	504	175.0%
指導者の派遣及び資機材 の導入（県立学校以外）	対象件数	5	5	100.0%
	補助金額	548	334.4	61.0%
学校林の整備支援 （県立学校）	対象件数	0	0	0.0%
	事業費	0	0	0.0%
計	金額	836	838.4	100.1%

出典：長野県長野地域振興局調べ

(3) みどりの少年団活動等

- 県下で最も団数が多く、小中学校を併せて52団が活動している。
- こどもたちが森林に触れる機会を創出するため、学校林の整備や指導者の派遣等により支援を行っている。

【みどりの少年団の設立状況（令和6年4月現在）】

区分	設立年度	設立団数	対象学年	団員数
小学校	昭和55年度～令和4年度	42団	1～6年生	7,824人
中学校	昭和61年度～令和4年度	10団	1～3年生	1,865人
計		52団		9,689人

出典：長野県長野地域振興局調べ

注 信濃町立信濃小中学校のみどりの少年団は小学校の区分に含めている。

Ⅲ 地域の森林・林業の主要・懸案事項

1 少花粉スギへの転換及びスギ材の利活用の推進

- 「花粉症に関する関係閣僚会議」では、発生源対策として、約30年後に花粉発生量の半減を目指すとし、林野庁では「スギ人工林伐採重点区域」を設定し、伐採から再造林までの一貫施業により少花粉スギや他樹種への転換を促進することとされた。
- 長野市、須坂市、千曲市、高山村、信濃町、飯綱町、小川村で、280haを「スギ人工林伐採重点区域」とし、今後、事業展開を検討していく。
- 令和6年度から米子採種園において本格的な少花粉スギの種子生産に向けた施業を実施していく方針である。
- 地域の製材業や木工業、工務店等の民間事業者との連携強化により地域材の需要拡大に取り組むとともに、流通加工施設の整備や公共・民間施設の木造木質化等の支援を行う。

【管内民有林の人工林における樹種別面積及び割合】 (単位: ha)

樹種	針 葉 樹					小計	広葉樹	計
	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	その他針			
面積	16,717	811	2,008	17,185	228	36,952	227	37,177
割合	45%	2%	5%	46%	1%	99%	1%	100%

出典：長野県林務部「長野県の民有林現況（令和4年度）」

【管内の素材生産量】 (単位: m³)

区 分	R1	R2	R3	R4	計	構成率(%)
スギ	27,157	28,688	35,320	33,336	124,501	59.5
ヒノキ	620	109	71	568	1,368	0.6
アカマツ	1,580	589	604	533	3,306	1.6
カラマツ	28,184	19,451	11,808	8,715	68,158	32.5
その他針	2	15	772	30	819	0.4
広葉樹	4,395	3,619	1,850	1,372	11,236	5.4
計	61,938	52,471	50,425	44,554	209,388	100.0

出典：木材統計調査（令和5年度）

【管内の県産スギの活用事例】

- ・「長野駅善光寺口」：長野地域産のスギを活用した大庇
- ・学校法人豊野学園：県産材スギ、カラマツ等を活用した新校舎
- ・森の駅 Dai z ahoushi：長野市産材カラマツを活用した産業観光施設
- ・「OYAKI FARM BY IROHADO」：南信州地域産のスギを活用した商業施設

2 ツキノワグマの出没対応

- 出没や被害を持続的に抑制するために、市町村等と連携し、地域における被害状況等を適時に把握し、環境整備、捕獲、防護柵の設置等、総合的な被害防止対策を実施していく。
- 環境省において指定管理鳥獣に追加されたことを踏まえ、県の有識者による検討状況を具体化し、各地域の状況に応じて迅速かつ的確に対応していく。

【ツキノワグマの目撃等の推移】 (単位: 件 (人))

年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
県 内	目撃(里地)	476	1,575	582	786	600	749	1,332	1,437	1,059	770	1,406
	人身被害	3(3)	31(32)	6(6)	9(9)	6(7)	5(5)	8(8)	12(12)	16(16)	8(8)	11(12)
長野管内	目撃(里地)	76	157	106	100	71	140	160	202	171	98	145

出典：長野県長野地域振興局調べ

3 坂城町における林野火災跡地の森林の復旧

- 保安林については、県が令和6年度に治山事業として、松くい虫被害対策と土砂流出防備対策を実施し、普通林については、坂城町が令和6年度に松くい虫対策事業として、松くい虫被害対策を実施し、森林の復旧を進める。

【林野火災の概要】

- (1) 出火場所：坂城町上平
- (2) 消防覚知：令和5年4月6日（木）午前11時35分
- (3) 鎮火：令和5年4月8日（土）午前12時21分（林野火災のみ鎮火）
- (4) 出火原因：産廃集積場から出火し、周辺の山林に類焼したもの。
- (5) 被害面積：13.9ha

【坂城町における林野火災跡地の復旧対策】

（単位：ha、千円）

区分	事業名	事業主体	事業内容	実施面積	事業費
保安林	保安林総合改良事業	県	本数調整伐(更新準備)・集積・薬剤処理・筋工	2.20	3,000
普通林	信州の森林づくり事業 (保全松林緊急保護整備)	坂城町	衛生伐(伐倒燻蒸) 1,400 m ³	8.30	41,626

出典：長野県長野地域振興局調べ

4 森林環境(譲与)税

- 各市町村の活用方針や執行計画を踏まえつつ、市町村を構成員として組織する連絡会議等を通じ、適切な活用に向け支援を行う。

【森林環境(譲与)税の配分状況】

（単位：千円）

	R1～4年度			R5年度(見込)			R1～5年度(見込)			R6年度譲与額(前年度対比)		
	譲与額	執行額	執行率(%)	譲与額	執行額	執行率(%)	譲与額	執行額	執行率(%)	R5年度(見込)	R6年度(想定)	(R6/R5)(%)
長野市	363,403	147,835	41	126,690	124,000	98	490,093	271,835	55	126,690	162,938	129
須坂市	57,796	49,967	86	19,480	19,480	100	77,276	69,447	90	19,480	25,904	133
千曲市	41,644	23,878	57	14,594	13,768	94	56,238	37,646	67	14,594	18,555	127
坂城町	15,941	12,598	79	5,534	6,870	124	21,475	19,468	91	5,534	7,450	135
小布施町	4,322	1,633	38	1,588	3,988	251	5,910	5,621	95	1,588	1,864	117
高山村	31,938	30,817	96	11,286	12,434	110	43,224	43,251	100	11,286	15,921	141
信濃町	33,700	6,418	19	11,416	13,468	118	45,116	19,886	44	11,416	15,653	137
小川村	17,982	11,954	66	6,470	6,470	100	24,452	18,424	75	6,470	9,138	141
飯綱町	17,314	17,314	100	6,124	6,124	100	23,438	23,438	100	6,124	8,381	137
計	584,040	302,414	52	203,182	206,602	102	787,222	509,016	65	203,182	265,804	131
県全体	3,976,747	2,248,968	57	1,370,780	1,360,089	99	5,347,527	3,609,057	67	1,370,780	1,853,042	135

出典：長野県林務部調べ

